

分析プラットフォーム+ DN7

AP+DN7

Upgrade Manual

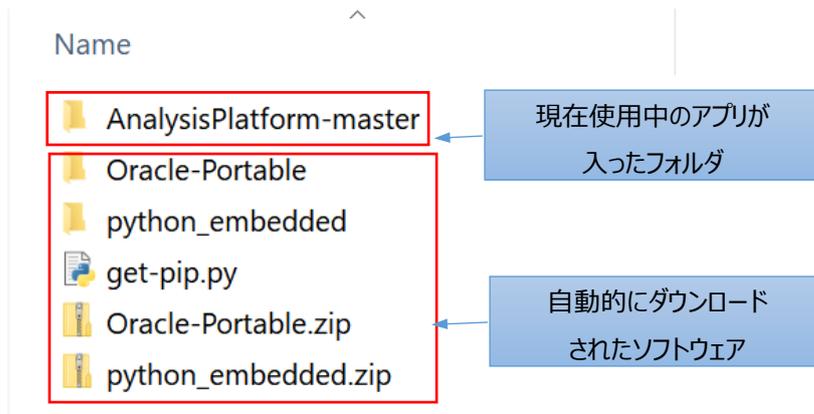
このマニュアルでは、分析プラットフォームのアップグレード方法について説明します。分析プラットフォームは各種設定内容を行することができますので、さらなる機能の追加/バグ修正が施されたアプリをぜひご利用下さい。

目次

1. 新しいアプリの入手と設置	2
2. 各種設定の移行	4
3. ポート番号/プロキシ設定/デフォルト言語などの起動設定	6
4. 新バージョンへのデータの読み込み	7

1. 新しいアプリの入手と設置

既に分析プラットフォームをお使いいただいている場合、下のようなフォルダ構成になっていることを確認してください。以降、説明にはデフォルトのフォルダ名 “AnalysisPlatform-master” を使用しますが、これは変更されていても問題ありません。

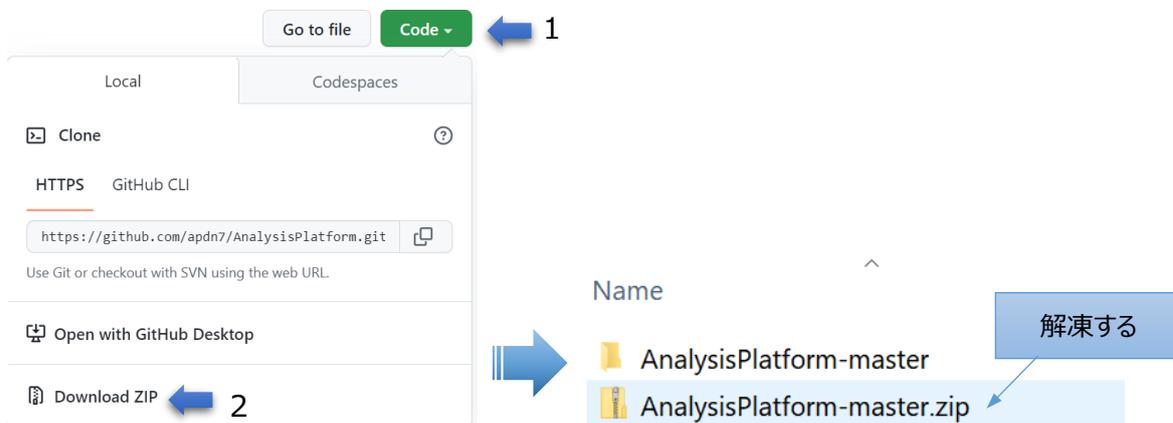


!!注意

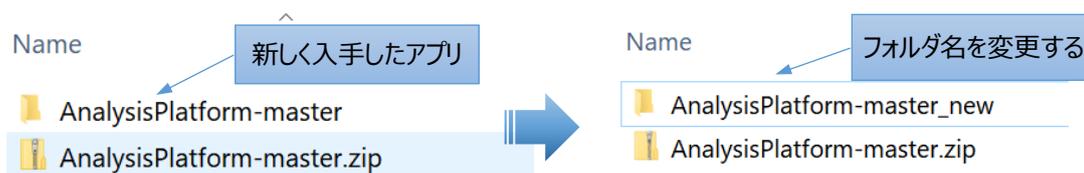
“AnalysisPlatform-master” フォルダの中に、現在お使いいただいているアプリで読み込んだデータと設定内容が保存されています。**このフォルダは、新しいアプリでの動作確認が充分にとれるまで絶対に削除しないでください。**

次に、新しい分析プラットフォームを入手します。GitHub にアクセスし、zip ファイルを入手して解凍してください。解凍が完了すると、“AnalysisPlatform-master” フォルダが現れます。

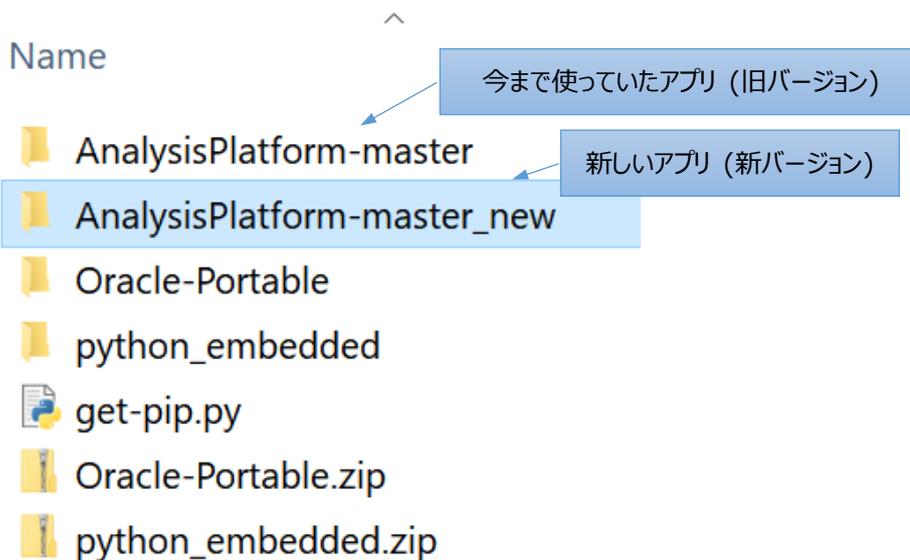
<https://github.com/apdn7/AnalysisPlatform>



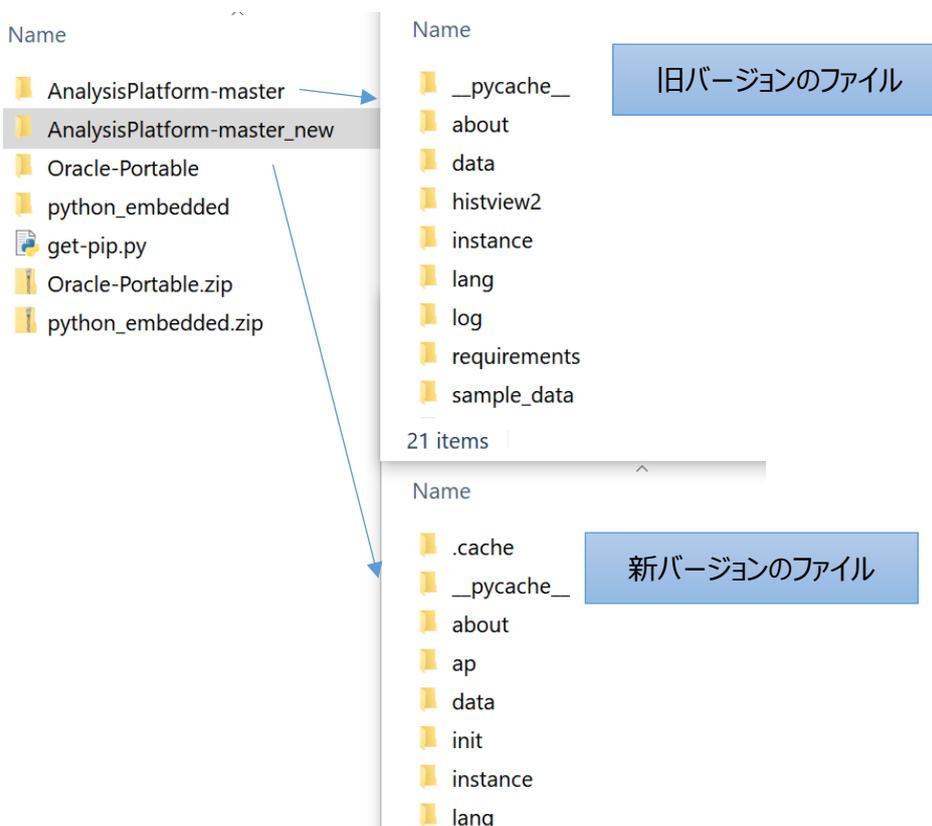
このままでは名前が重複しているため、分かりやすい別のフォルダ名に変更してください。ここでは “AnalysisPlatform-master_new” としました。



次に、フォルダ名を変更した新しいアプリ（以降、新バージョン）を、今まで使っていたアプリ（以降、旧バージョン）と同じフォルダに移動してください。



新バージョンの設置後、以下のようなフォルダ構成になっていることを確認してください。“AnalysisPlatform-master”の中に旧バージョンのファイル、“AnalysisPlatform-master_new”の中に新バージョンのファイルが格納されています。これで新バージョンの入手と設置は完了です。



2. 各種設定の移行

旧バージョンで設定した内容（データソース設定、工程設定、紐付設定、フィルタ設定、マスタ設定、ブックマーク）を新バージョンに移行する方法を説明します。

!!重要

旧バージョンのフォルダは、新バージョンでの動作確認が完了するまで削除しないでください。

動作確認のために旧バージョンと新バージョンで使用するポート番号を違うもの（例：7769, 7770）に設定しておき、データ移行後はどちらも起動することをお勧めします。しばらくの間両方のバージョンを起動しておき、新バージョンでの問題発生時にいつでも旧バージョンを使用できる状態にして頂くにより安全にご利用頂けます。

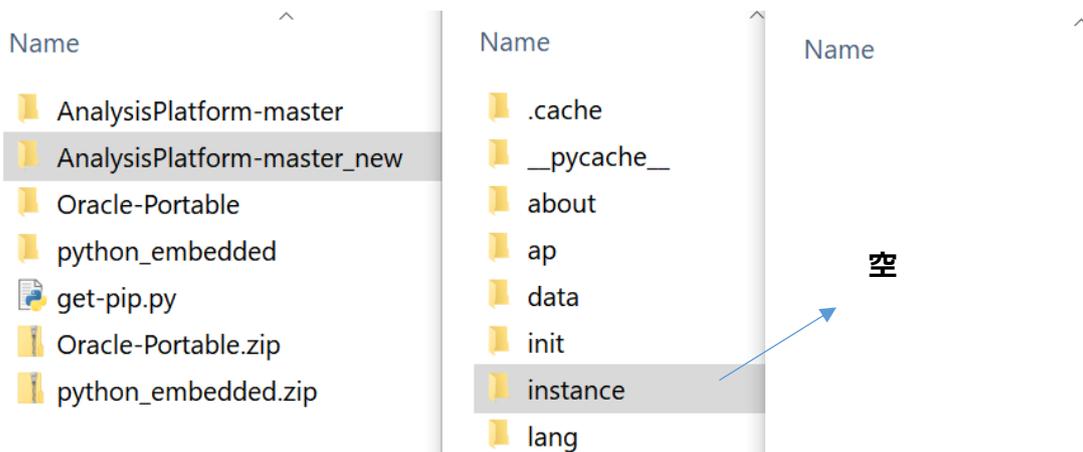
設定内容はアプリのフォルダ内の“instance”フォルダ内に保存されています。

- app.sqlite3: 各種設定内容（この内容を移行します）
- universal.sqlite3: 読み込んだデータ

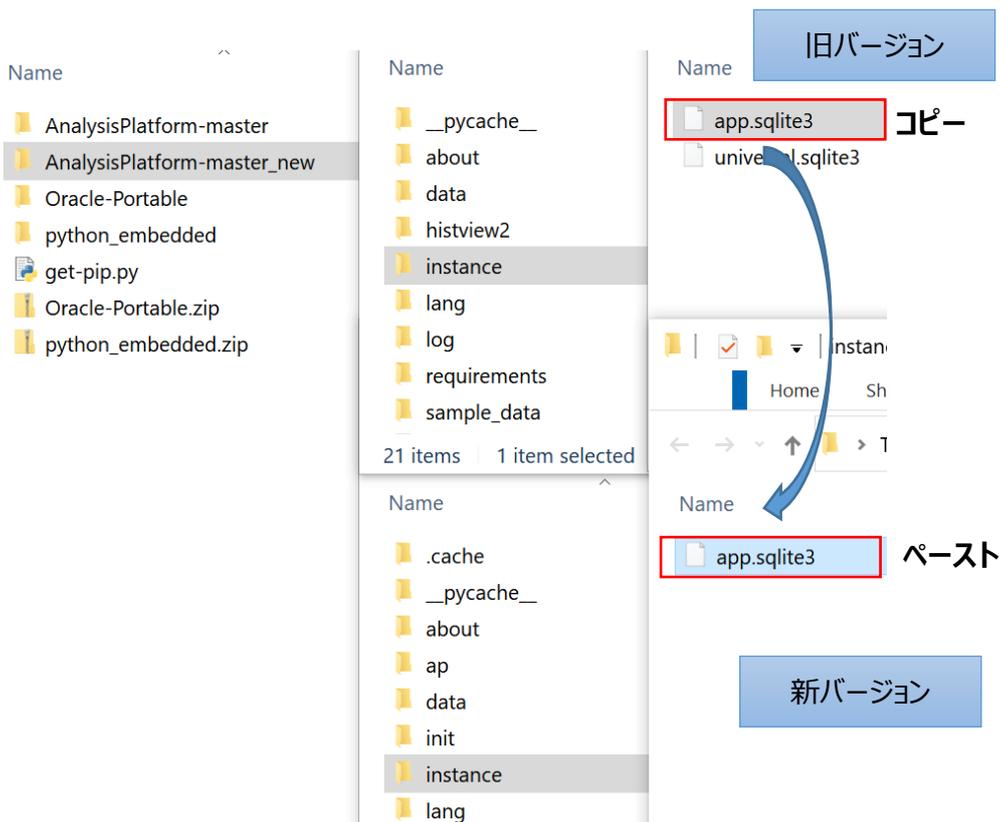
!!注意

分析プラットフォーム v4.1.0 以降は高速化のため、読み込んだデータが格納されている“universal.sqlite3”の構造が変更されています。そのため、“universal.sqlite3”は直接移行することができません。設定内容を移行後、新バージョンの設定画面（“工程設定：詳細”）で内容を確認し“データ読込”ボタンを押すことでデータが読み込まれます。

まず、新バージョンの“instance”フォルダ内が空であることを確認してください。



旧バージョンの “instance” フォルダ内にある “app.sqlite3” を、新バージョンの “instance” フォルダにコピー&ペーストしてください。



これで設定内容の移行は完了です。

3. ポート番号/プロキシ設定/デフォルト言語などの起動設定

旧バージョンでは、分析プラットフォームが使用するポート番号/デフォルト言語の設定を “basic_config.yml”、

AnalysisPlatform-master > histview2 > config > basic_config.yml

プロキシの設定はアプリ起動時に使用する“oss_start_app.bat”で行っていました。

一方、新バージョンでは、ポート番号/デフォルト言語/プロキシなどの設定を“startup.ini”のみで行い、アプリを起動するファイルは“oss_start_app.bat”から“start_ap.bat”に変更されています。

設定方法は、ドキュメント “Getting Started” の “ポート番号/プロキシ設定/デフォルト言語などの起動設定” の章を参照してください。

The image shows a file explorer on the left with a list of files and folders. The file 'startup.ini' is highlighted with a red box. A blue arrow points from this box to the text editor on the right. The text editor shows the content of 'startup.ini' with a blue box highlighting the text '全ての起動設定がこのファイルで完結' (All startup settings are completed in this file). A white box with the text '新バージョン' (New Version) is also present in the top right corner of the editor window.

```
startup.ini - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
:
:
: Analysis Platform User Setting. ini
:
: Important notice:
: Running the batch file is regarded as you agreed to the Terms of Use.
: Terms of Use:
: https://github. md
:
: [StartUpSetting]
: AP Port of Edge Server
: port=7770
: Default: 7770 Recommended usage range: 7750-7770 Only Integer range:6000-7999 available
:
: Default StartUp Language
: lang=null
: lang=null : Use default setting
: lang=ja
: Selecet from en, ja, it, es, ... (choose from AP+DN7 Selection)
```

4. 新バージョンへのデータの読み込み

各種設定の移行が完了したら、新バージョンのアプリを起動してください。起動方法はドキュメント “Getting Started” の “アプリの起動/停止” の章を参照してください。

旧バージョンが v4.1.0 以降の場合:

分析プラットフォーム起動後、移行した設定内容に基づいて自動的にデータの読み込みが開始されます。

旧バージョンが v4.0.0 または v4.0.1 の場合:

アプリ起動後、アプリのサイドバー > 設定 から “工程設定” を開いてください。その後、編集ボタンをクリックして、“工程設定: 詳細” 画面を開いてください。



- 工程設定							検索...
No	工程名	データソース名	テーブル名		コメント	状態	
Filter	Filter...	Filter...	Filter...		Filter...		
1	assembly_1_parts_feed	assembly_1_parts_feed					
2	assembly_2_inspection	assembly_2_inspection					
3	parts_processing_1_mach	parts_processing_1_mach					
4	parts_processing_2_mach	parts_processing_2_mach					
5	parts_processing_3_finish	parts_processing_3_finish					

この画面では、移行した設定内容が正しいか確認して頂き、“データ読込” ボタンを押してください。設定内容に基づきデータの読み込みが開始されます。この操作を移行した全工程で行ってください。

データ読み込みの進行状況は、アプリのサイドバー > 設定 から“ジョブ一覧”を開くと確認することができます。